

「不動産のためのミクロ経済学」 レジューメ N0.3 (2010年再履修クラス)

クラス担当教員名※ ¹	学籍番号※ ²	氏名※ ²

※1:履修登録したクラスの担当教員名を書く ※2:学籍番号及び氏名が未記入のもの、また授業終了後に提出されたものは採点しないので、注意すること。

2. 不動産市場を考えるためのツール —供給曲線—

前回の需要曲線に引き続き、皆さんも良く飲む(?)ビールを例に、ミクロ経済学の基礎となる市場を考えてみます。ここでは、ビール好きのアサダ君とハヤシ君、パブを経営しているサカモト君とマエカワ君で構成されるビール市場を考えてみましょう。

売り手の行動の結果は供給曲線によって表すことができます。ここでは、供給曲線とは何か、どのような性質があるのか、供給量に影響を与える要因にはどのようなものがあるのか等々、不動産市場を考えるための一つのツールとして供給曲線を説明します。

2-1 個別の供給量の決定

供給量 (quantity supplied) とは、「売り手が財やサービスの販売を望み、かつそれが可能な量のこと」です。 この供給量は、財を生産する企業や個人によって大きさが異なり、さまざまな要因で変化します。前回同様、売り手は財の価格がどこから与えられた(所与である)ものとして行動するものとします。

サカモト君は、パブを経営し、地ビールを製造・販売しているとしよう。サカモト君が製造・販売したいと考えるビールの量を決定する要因にはどのようなものがあるだろうか？

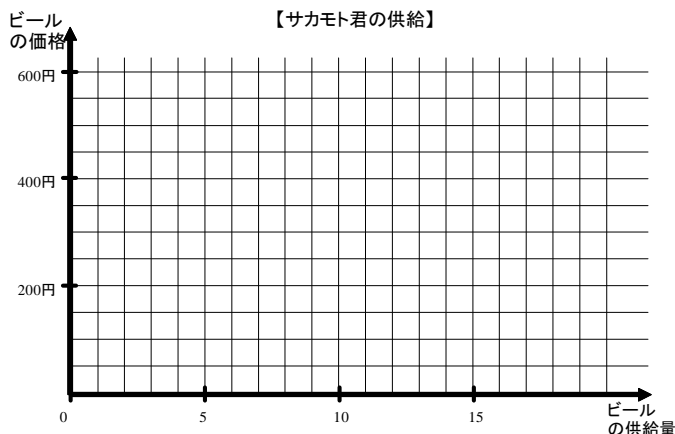
ビール供給の決定要因	決定要因の変化	ビール供給はどう変化するか？
ビールの価格 (財の価格)	ビールの価格 (↑)	
ホップの価格 (投入価格)	ホップの価格 (↓)	
生産技術	生産技術の向上	

2-2 供給表と供給曲線

このように個別のビール供給量はさまざまな要因に影響を受けます。分かりやすくするため、ビールの価格を除いて、ビール供給量の決定要因 (投入価格や技術、期待) が一定の状況を考えてみましょう。

下表は、**ビールの価格以外の決定要因を一定とした場合**における、さまざまなビール価格の下でのサカモト君のビール供給量を示しています。200円/杯以下の価格では、サカモト君のビール供給量はゼロで、300円/杯におけるビール供給量は2杯、400円/杯におけるビール供給量は4杯と価格が上昇するにつれて、サカモト君のビール供給量は増加していきます。このような、財の価格と供給量の関係を表した「表」を供給表といい、それを図で表したものを**供給曲線**といいます。サカモト君の供給曲線を描き込んでみましょう。

ビールの価格	サカモト君の供給量
0円	0杯
100円	0杯
200円	0杯
300円	2杯
400円	4杯
500円	6杯
600円	8杯



上図の供給曲線は、**ビールの価格だけが変化したときに、サカモト君のビール供給量がどうかわるか**を示しています。このとき、投入価格や生産技術、期待 (予想) などが変化しないということを忘れないで下さい。需要のところでも触れたように、経済学では、注目している変数 (上図ではビール価格) 以外の関係ある変数すべてが一定に保たれていることを、『その他の条件を一定として (Ceteris Paribus ; セタラス パラバス)』という言葉で表現します。

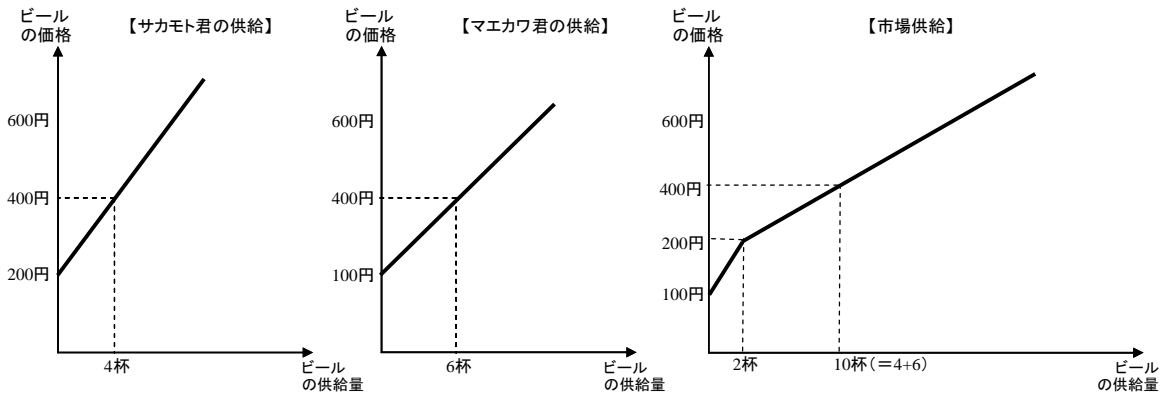
2-3 市場の供給と個別の供給

市場がどのように機能しているかを分析するためには、市場の供給を知る必要があります。**市場供給曲線とは、個々の売り手の供給曲線を水平に足し合わせたもの**です。すなわち、市場の供給は個別の供給から導き出されるので、**個別の供給量の決定要因は、市場の供給量にも影響を与えます。**さらに、**市場の供給は売り手の人数にも影響を受けます。**

「不動産のためのミクロ経済学」 レジューメ N0.3 (2010年再履修クラス)

クラス担当教員名※ ¹	学籍番号※ ²	氏名※ ²

※1:履修登録したクラスの担当教員名を書く ※2:学籍番号及び氏名が未記入のもの、また授業終了後に提出されたものは採点しないので、注意すること。



供給表

ビールの価格	サカモト君の供給量	マエカワ君の供給量	市場供給量
0円	0杯	0杯	0杯
100円	0杯	0杯	0杯
200円	0杯	2杯	2杯
300円	2杯	4杯	6杯
400円	4杯	6杯	10杯
500円	6杯	8杯	14杯
600円	8杯	10杯	18杯

「不動産のためのミクロ経済学」 レジューメ N0.3 (2010年再履修クラス)

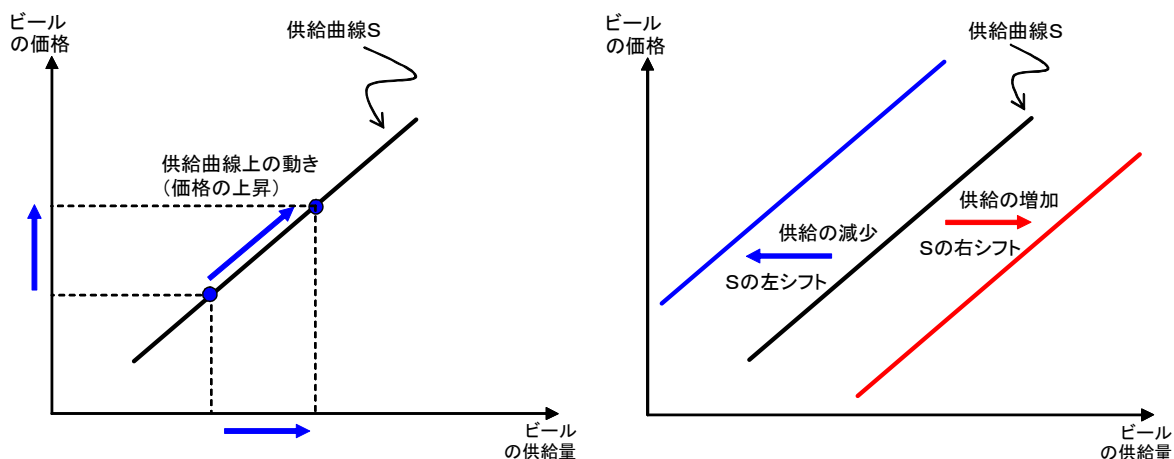
クラス担当教員名※ ¹	学籍番号※ ²	氏名※ ²

※1:履修登録したクラスの担当教員名を書く ※2:学籍番号及び氏名が未記入のもの、また授業終了後に提出されたものは採点しないので、注意すること。

2-4 供給曲線のシフト

市場の供給は、個々の供給量の決定要因の変化からどのような影響を受けているのでしょうか？以下の表を埋めてみましょう。

供給量に影響する変数 (その他は, CETERIS PARIBUS)	この変数の変化がもたらす供給曲線の変化
ビールの価格 (↑) ホップ原産国にて大干ばつ発生 人件費 (↓) 生産技術の向上 売り手の人数 (↑)	



需要曲線のとくと同じように、ここで注意。「ビールの供給が増える」と言ったときに、左上の図のように、価格が上昇したことによって供給量が増加する場合（「供給量の変化」）と、右上の図のように、生産技術が向上するなど、供給曲線自体が右にシフトして、どんな価格であっても供給量が増加する場合（「供給の変化」）とは、まったく意味合いが違います（なぜこうなるかといえば、供給曲線が、価格と供給量の関係を図示したものであって、他の条件については一定と仮定しているからです）。

<まとめ>

供給曲線は、財の供給量を決定するすべての要因を一定に保ったまま、価格だけを変化させたときに、供給量がどのように変化するかを表した曲線である。価格以外の決定要因が変化すると、供給曲線はシフトする。

【参考文献】

- ミクロ経済学について詳しく勉強したい人は下記の参考文献を読んでみましょう。
- ・「マンキュー経済学 I ミクロ編」, N・グレゴリー・マンキュー, 東洋経済新報社.
 - ・「ミクロ経済学 第2版」, ステッグリッツ, 東洋経済新報社.